

# 《国のゼロ・エネルギー支援事業採択住宅》

## 陸前高田市 ゼロ・エネルギー住宅

### 完成見学会 (要予約)

日時：11月14日(土)・15日(日)  
午前10時～午後4時

場所：陸前高田市気仙町字町裏26-28  
(金剛寺造成地内)

有限会社 日高見工務店

Tel : 0197-62-3377 Mail : [hitakamik@vega.ocn.ne.jp](mailto:hitakamik@vega.ocn.ne.jp)



#### IEAは、このままでは世界は持続不可能と警告

IEA (国際エネルギー機関) は、エネルギーの安全保障や経済成長などの分析を行っています。IEAは、このままでは地球環境はもちろん経済的にも世界は持続不可能であるとし、再生可能エネルギーへの転換など、低炭素社会への移行を促しています。

#### 日本では2020年までに標準的な新築住宅をゼロ・エネルギーに

日本ではエネルギー消費全体の約14%が家庭での消費です。

国は、住宅の省エネ化と太陽光発電設置などにより、2020年までに標準的な新築住宅をゼロ・エネルギー化する計画です。大手ハウスメーカーもこれに対応する商品を続々と発表しています。

#### 寒冷地ではゼロ・エネ化が困難

ところが岩手のような寒冷地では、暖房エネルギー消費が大きくなるため、大手ハウスメーカーの仕様ではゼロ・エネ化が困難です。ゼロ・エネルギー住宅の実績棟数が日本トップクラスというセキ○イ○〇ムも、岩手、青森、北海道の実績はゼロです。

それぞれの地域の気候風土に対応した住宅が必要なのです。

#### 日高見工務店は、高性能ドット住宅 (Q値 1.0W/m<sup>2</sup>以下) でゼロ・エネ化を実現

岩手のような寒冷地では、建物の断熱気密性を高めるなどの高性能化がとくに重要です。高性能にするほど暖房エネルギーを減らすことができ、かつ快適で健康的な暮らしを実現できます。

弊社はドットプロジェクトに参加し、熱損失係数Q値 1.0W/m<sup>2</sup>K以下の超高性能住宅の建設実績が県内No.1です。Q値1.0の家は、暖房エネルギーが次世代省エネ基準の家の約1/3ですみ、かつ快適です。

弊社は2012年2月に岩手県初のゼロ・エネルギー住宅を建築し、メディアでも報道されました。その後の実績データで、ほぼ計算どおりゼロ・エネルギーを達成することがわかりました。

その後もゼロ・エネルギー住宅の建築をさせていただき、これまで約10棟の実績になりました。

国の「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」にも3年連続で採択されており、今回の見学会場も支援事業の対象となる住宅です。

#### ランニングコストが減って長期的にはかえってお得

次世代省エネルギー基準の家と比べると、断熱工事や換気設備などで建築費は増加します。しかしランニングコストについては、暖房エネルギーが1/3になるなど大幅に小さくなります。

建築費の増額分はランニングコストが減ることで、十数年で回収できる計算です。エネルギー価格の高騰があれば、より短期間で回収できることになります。これから建てる家に永く住むことを考えれば、最初はコストが多少増えても長期的には安い投資になるでしょう。

### 日高見工務店は、県内初のドットマイスターに認定されました

ドット・プロジェクトは、ヨーロッパ並みの高性能住宅を岩手に普及させようとする、産学共同の団体です。ドットプロジェクトには認証制度があり、Q値 1.0W/m<sup>2</sup>K 以下の高性能住宅をドット住宅として認証してきました。ドット住宅はこれまで約 30 棟に達します。

そのうち弊社は、12 棟の認証を受けています。先日、弊社はドット住宅を 10 棟以上建築したとして、県内初の Dot マイスターの称号をいただきました。今後も精進を続けます。

是非、この機会に皆様でゼロ・エネルギー住宅をご見学下さい。

### 特徴

床面積 41 坪の平屋です。

壁の断熱が高性能グラスウール 210mm、天井がセルロースファイバー 400mm、窓はトリプルガラスの樹脂サッシを採用し、高断熱化しています。

換気は熱交換率 90% のスティーベル熱交換換気を採用しています。

開放しやすい引き戸を多く採用するなどして、空気や熱や光がゆき渡りやすいようにしています。

南面に大きなサッシを配置し、冬の日射エネルギー取得を図っています。

再生可能エネルギーが使用できるペレットストーブを設置しています。

Sii (一般社団法人 環境共創イニシアチブ) のネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業の採択を受けています。

### ■現地案内図■

